No.10

移住者ってどんなひと？

南相馬の

かっこいい

おとな手帖

Uターン

愛知県 → 南相馬市

おとな手帖

No.10

地域発信の最前線

セデッテかしまで南相馬の魅力を伝える

今回のかっこいい大人

小川（おがわ） 有哉（ゆうや） さん（31）

南相馬市鹿島区生まれ

お仕事　セデッテかしま　副店長

移住歴　2015年～

18歳	22歳	24歳
大学進学のため宮城県仙台市へ。	全国展開のアパレル企業に就職。宮城県配属から異動になり愛知県へ。	転職と同時に南相馬市へUターン。

地元農家さんが直接納品に来る自慢の野菜たちもしっかり見えるように

スタッフのみなさんが働きやすい環境をつくることも小川さんのお仕事

高校生記者が

小川さんにQ&A聞いてみた！

Q1. 働いているセデッテかしまや、業務内容について教えてください。

A. 「サービスエリアだけどサービスエリアっぽくない」のが特徴の株式会社 野馬追の里が運営する施設です。旅行や移動中での単発利用に限らず、リピーターの方が多く利用しているという点で、他のサービスエリアとは少し毛色が違います。お店の商品は全て委託販売なので、一つひとつの背後に出品者、生産者がいることを忘れず、皆さんとのつながりを大切にしています。

地元の農産物や加工品を取り扱っているので、皆さんに地元の名産品をPRできるのが強みです。テナントも地元の企業なので、セデッテかしま全体のどこをとっても「ここを見てください」とアピールできる店づくりができています。私は副店長としてデスクワークや雑務をこなしています。スタッフのみなさんが気持ちよく仕事ができるようにサポートがメインですね。

Q2. 高校生の頃と現在では、心境の変化はありましたか?

A. 高校生の頃は行動範囲にも制限がありますし、鹿島から原町に遊びに行くことはあっても、若い世代の刺激になるものは少ないという印象が強かったですね。でも、少し歳を重ねてくると刺激が少なく「何もない」というのもひとつの良さだなと思うようになりました。

震災後ということもあり、南相馬市全体が「何かをつくっていこう」というアクションを起こしています。そういった事業にたくさん取り組んでいる印象が帰ってきた当時はありましたし、セデッテかしまもそのひとつです。

皆さんは、これから南相馬市の外に出て何か経験を積んでいこうという意志の方が強いかもしれません。他の地域に出て見えるものもたくさんあるので、一度外に出て視野を広げるというのも大切だと思います。

わたしが記事にしました！

編集後記

藤木 千尋（ちひろ）
原町高校２年

私たちもよく利用するセデッテかしまの裏話や業務内容など、どのお話も興味をそそられるものばかり。南相馬市民の憩いの場としての役割も担うこの場所は、たくさんの人々の優しいつながりと努力によって成り立っているということに気付くことができました。

小川さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく！
Webサイトの記事はこちら→

My favorite Minamisoma

南相馬のお気に入り

鹿島区宝蔵寺のライトアップ

Houzouji's Light up

紅葉の時期に合わせて鹿島区にある宝蔵寺がライトアップされるのですが、紅葉とライトアップの融合がすごくきれいで毎年訪れています。珍しい寒桜を見ることもできるんです。この時期は、宝蔵寺だけではなく「かしまプロムナード」といって、周辺の神社や万葉の里風力発電所ライトアップなども合わせて見られるので、散歩しながら巡るのもおすすめです。

ORIORI

移住者ってどんなひと？

南相馬のかっこいいおとな手帖って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。
彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。
「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前の環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる!?

Publisher：南相馬市役所　移住定住課
Direction：marutt Inc.
Editor：小野民、髙橋慶香、藤木千尋、大井紀葉
Designer：高木市之助
Photographer：鈴木宇宙

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→